

Clariss FileMakerのクリップボード データを出力するCLIツール

2024年7月12日

Go Connect #1 ライトニングトーク発表資料

松尾篤



松尾 篤

@matsuo_atsushi

XMLPaste

- Go言語で作成したCLIツール
- Claris FileMaker Proでコピーした各種クリップボードデータをペーストできる
- macOS版とWindows版を用意

Claris FileMaker



- 39年の歴史があるFileMaker
- 業務改善に役立つアプリを構築できる
ローコード開発プラットフォーム
- iPadおよびiPhoneにも対応

使用手順

1. Claris FileMaker Proでオブジェクトをコピー
2. コマンドプロンプトやPowerShell (Windows) 、ターミナルアプリケーション (macOS) 等でxmlpasteを実行

対応するデータ形式

- テーブル、フィールド
- スクリプト、スクリプトステップ
- レイアウトオブジェクト
- テーマ
- カスタム関数、カスタムメニュー

Demo

Open Source Software

- 約5年前に作成
- GitHubで公開 (MITライセンス)

<https://github.com/emic/XMLPaste>

OS固有の処理への対応

- macOSではcgoでObjective-Cの処理を呼び出してクリップボードにアクセス
- Makefile内でmacOS用のビルド時に「CGO_ENABLED=1」を指定
- WindowsではWindows APIを使用してクリップボードにアクセス

OS固有の処理への対応

- ファイル名による指定で対応可能
 - xmllpaste.go (共通部分)
 - xmllpaste_darwin.go (macOS)
 - xmllpaste_windows.go (Windows)

利用可能なオプション

- -h (--help) : ヘルプを表示
- -o (--output) : ファイルとして出力
- -p (--pretty) : 出力結果のXMLを整形
- -v (--version) : バージョン情報を表示
- -n : 末尾の改行を出力しない (macOSのみ)

OS共通の処理

- xmlpaste.goにおいて
 - flagパッケージを使用してオプションを処理
 - オプションが指定された際に出力結果のXMLを整形

GoでCLIツールの作成

- 3つの利点
 - 配布のしやすさ
 - 複数プラットフォームへの対応のしやすさ
 - パフォーマンス

「みんなのGo言語[現場で使える実践テクニック]」（技術評論者）より

Goのいいところ

- 標準でコードフォーマッター (gofmt) が附属
- コードのインデントや改行位置、変数の整列などを自動調整してくれる
- 設定項目が存在しないgofmtのおかげで独自のスタイルが乱立しない

関連リンク

- XMLPaste

<https://github.com/emic/XMLPaste>